

📣 キックオフ開催

令和3年3月16日(火) 13:00～

「ないものはない」

— AMA TOWN 海士町から見えるこれからの地域づくり・人づくりとは —

先着
50名

海士町オンラインゼミ キックオフセミナー

人口減少の最前線である島根県隠岐郡海士町。隠岐島前高校魅力化プロジェクトをはじめ、サステナブルな島を目指して様々な挑戦をし続けています。なぜ海士町では、そこに集まる人々が、挑戦をし続けることができるのか、地域活性化の源は「交流」であるとし、人がひとを呼び込む風土とは。

ここがポイント

- **オンライン形式** で海士町に学ぶ、一緒に考える
- キックオフは海士町の「農」をはじめとする「**食**」をテーマに
- 同じ離島の佐渡での **対話型** の **里山農業** をはじめとした取り組みから見える、海士町との共通課題について対談します！

講師



濱中 香理 氏
海士町役場
人づくり特命担当課長



豊田 光世 氏
新潟大学 佐渡自然共生科学センター
准教授



宮崎 真菜
一般財団法人地域活性化センター
企画グループ副参事

参加料

3,000 円

\\ 複数でのお申し込みがお得 //

3名以上の方が同時にお申し込みになる場合は
2,000円に割引になります！

開催方法

ZOOMによるオンライン開催

海士町オンラインゼミ





時 間	カリキュラム／内 容
13:00	オープニング
13:10	<p>話題提供①「意志ある未来に向かって ないものはない離島からの挑戦」（濱中氏）</p> <p>離島のハンデを乗り越え、地方創生の先進地域として躍動してきた海士町。隠岐島前高校魅力化プロジェクトをはじめとする挑戦への取り組み、そして、海士町の考える「交流」や「人づくり」。今回はとくに、島の食文化の商品化、自給自足ができる島、おすそ分け文化といった「食」が紡ぐ海士町の未来、そして、濱中氏自身の「農」との関わり、島の食に関する小ネタについて話題提供いただきます。</p>
13:35	グループでの意見共有
13:45	<p>話題提供②「地域課題に取り組むコラボレーションのデザイン」（豊田氏）</p> <p>実践型の研究として佐渡で取り組む民官学連携事業「里山農業の未来デザイン」、そしてp4c（philosophy for children：子どもの哲学）教育の研究を通じた大人と子どもが対等に参加する「対話」とは？住民とともに取り組むコラボレーション、対話の仕組みづくり、佐渡の里山農業から見える海士町との共通課題について話題提供いただきます。</p>
14:10	<p>話題提供③「地域活性化センターの役割と海士町との関係づくり」（宮崎）</p> <p>「地域づくりはひとづくり」の理念のもと、海士町と人材育成に関する連携協定を締結した地域活性化センターの役割や、センターで2年間、海士町に関わってきた担当者としての想いを語ります。</p>
14:20	グループでの意見共有
14:25	パネルディスカッションによる質疑応答（海士町、新潟大学、地域活性化センター）
14:55	クロージング
15:00	終了



講師プロフィール

濱中 香理 氏（海士町役場 人づくり特命担当課長）

島根県海士町出身。2002年海士町役場に入庁。地域振興課（現在の地産地商課）で水産業務を3年間担当した後、2005年からはCASと呼ばれる鮮度を保持する冷凍方法の事業立ち上げに従事。第三セクター（株）ふるさと海士の社員や地元の漁業者などと共に、商品開発や販路開拓など10年間に携わる。2015年に総務課に異動、島根県立隠岐島前高校魅力化プロジェクト及び地方創生戦略プロジェクトの担当となり、2019年より現職にて同プロジェクトを推進しながら、ふるさとへの様々な還流を起こすべく奮闘中。

豊田 光世 氏（新潟大学 佐渡自然共生科学センター 准教授）

東京都出身。米国大学院で環境倫理と哲学対話を研究。帰国後、東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程を修了。佐渡島をフィールドに地域環境の保全に向けた話し合いと協働の場をデザインし、多様な主体の協働による環境ガバナンスのあり方について研究。民主的な地域環境ガバナンスを実現するための社会技術を開発していくことを目指す。兵庫県立大学環境人間学部講師、東京工業大学グローバルリーダー教育院特任准教授を経て、2015年9月より現職。

宮崎 真菜 氏（一般財団法人地域活性化センター 企画グループ副参事）

静岡県牧之原市出身。国際系学部の大学に進学後、1年間休学し、愛媛県、秋田県で障がい者の雇用づくり、若者のネットワークづくりのNPO活動を体験。牧之原市役所に入庁後は、地域創生課（現地域振興課）で「地域の絆づくり事業」、高校生対象の「地域リーダー育成プロジェクト」等を担当。現在は、地域活性化センターに出向し「地方創生実践塾in島根県海士町」を担当。海士町には4回訪問済み。地元の特産である「牧之原茶」を毎日飲み、うがいをしている効果もあり(?)風邪知らずな日々を送る。



申し込み方法

右のQRコードもしくは下記URLより申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上、ご送信ください。

https://www.jcrd.jp/event/online/2021/0125_2210/

※ご記入いただいた個人情報については、当センターからの事務連絡のほか、各事業のご案内等に利用させていただく場合がございます。

